

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】令和6年1月23日(2024.1.23)

【公開番号】特開2023-168492(P2023-168492A)

【公開日】令和5年11月24日(2023.11.24)

【年通号数】公開公報(特許)2023-221

【出願番号】特願2023-172038(P2023-172038)

【国際特許分類】

E 04 D 13/08 (2006.01)

10

E 04 D 13/068 (2006.01)

【F I】

E 04 D 13/08 301 G

E 04 D 13/068 504 B

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月12日(2024.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

片側に第1受口部を有する第1直管部と、

片側に第2受口部を有する第2直管部と、

一端が前記第1直管部の前記第1受口部と反対側と繋がり、他端が前記第2直管部の前記第2受口部と反対側と繋がっている第3直管部と、を備え、

前記第1直管部の軸線と前記第3直管部の軸線とが交差し、かつ前記第2直管部の軸線と前記第3直管部の軸線とが交差しており、

前記第1直管部と前記第3直管部の前記第1直管部側の一部とで屈曲した第1管部材が構成され、

前記第1直管部の軸線と前記第3直管部の軸線との交点の劣角度の外縁において角が形成され、

前記第2直管部と前記第3直管部の前記第2直管部側の残部とで屈曲した第2管部材が構成され、

前記第2直管部の軸線と前記第3直管部の軸線と交点の劣角度の外縁において角が形成されている、雨樋用曲がり配管。

【請求項2】

前記第3直管部に分割線が形成されている、請求項1に記載の雨樋用曲がり配管。

40

【請求項3】

前記第1受口部の内径は、前記第1直管部の前記第1受口部以外の部分の内径よりも大きい、

前記第2受口部の内径は、前記第2直管部の前記第2受口部以外の部分の内径よりも大きい、請求項1または2に記載の雨樋用曲がり配管。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載の雨樋用曲がり配管を備える雨樋システムであって、集水口と、

前記集水口に接続される前記雨樋用曲がり配管と、

前記雨樋用曲がり配管の下流側に接続される豊樋と、を備える、

50

雨桶システム。

10

20

30

40

50